

広報

こだま

2020

Vol.36

【栗田病院 広報誌】

新年のご挨拶

理事長 栗田 裕文・院長 安部 秀三

創立52周年記念事業

こころのクリニック水戸 OPENのお知らせ



栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けることです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会

栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505

TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com

<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

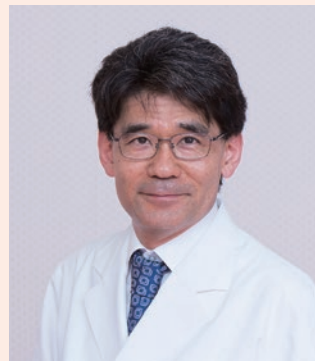
理事長・院長より新年のご挨拶

理事長よりご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。今年も皆様へ新年のご挨拶が出来ますこと、とても嬉しく思います。昨年、様々な方々との出会いや、学びを得る機会に恵まれ、とても実り多い1年でした。これもひとえに、患者様・利用者様やご家族様、連携をいただいております諸機関をはじめとした地域の皆様、そして有朋会スタッフの皆さん等々、沢山の方々に支えていただいている、応援をいただいているお陰だと実感しております。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

医療法人有朋会は2019年に「このクリニック水戸」を開院いたしました。病院とは異なるポジションとして、より地域医療に貢献していきたいと願っております。また、昨年は有朋会の関連法人として、一般社団法人この未来創造舎を立ち上げました(下記にあります)。10年後のビジョンからの名づけとなります。本格的な活動はまだこれからとなりますが、医療法人とはまた違った切り口で、この未来を創造していきたいと考えております。医療法人共々、よろしくお願いたします。なお、有朋会(病院クリニック)地域生活支援・介護及びこの未来創造舎を合わせまして、「栗田病院グループ」と総称しておりますので、よろしく願いたします。

表紙に栗田病院グループの理念が書いてありますが、私たちは、患者様・利用者様、ご家族様等々、たくさんの方々の「この」に、温かな(ホットな)灯りをとますこと、笑顔を増やし続けることを使命としております。今年もその使命を全うしていく所存です。もし、そうでないことがございましたら、どうぞ遠慮なくご指摘・お叱り下さいますよう、お願い申し上げます。



院長よりご挨拶

新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎え皆様方も清々しい新年を迎えられたこと、お喜び申し上げます。院長としてより一層気持ちを引き締めて運営していく所存です。本年もよろしく願いたします。

昨年平成から令和となりました。平成の時代に様々な自然災害を経験し、明るく健やかな時代を期待していたところ、昨年10月に当地域は水害被害を受けました。幸い当法人に影響はありませんでしたが、改めて被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げるとともに、いち早く普段の生活にもどれるようお祈りいたします。

さて昨年は法人・医局としては大きな挑戦をした年でした。1つは、昨年4月から新たな新専門医制度による精神科専攻医コースを当院で開設し、応募者1名を採用しました。当院での臨床実践を通し、地域で活躍できるジェネラルな精神科医師養成を開始しています。当県は精神科医師数が全国最低水準です。当院で1人でも多くの当地で働ける精神科医を育

10年後のビジョン「この未来を創造する」を目指し、2020年も引き続きKSTP(栗田病院グループ中長期経営計画)を着々と進めて参ります(4月からKSTP第二期がスタートいたします)。

理念やビジョンを目指す歩みの中、全く平坦な道ではないように、これからの様々なことが(嬉しいことが沢山、そうでないものも、もしかするとあるでしょう。そして、確かなことはどんな場合や状況でも(令和2年のこの年も)、栗田病院グループが目指すその先や使命には何ら変わりはないということです。使命、求める姿をしっかりと心に留め置いて歩み続けて、様々な経験を通して学び、成長し、「この」の未来を創造して参ります。

2020年も皆様と手を携えながら、共に歩んでいきたいです。ご指導、御鞭撻の程、よろしく願申し上げます。どうか皆様にとつても、素晴らしい1年であり参りますように。今年もよろしく願申し上げます。

(理事長 栗田裕文)

創立52周年記念事業

創立52周年を記念して、記念講演会・記念式典・症例研究発表会が行われました。

10/15(火)に記念講演会、11/15(金)に記念式典・症例研究発表会が執り行われました。

記念講演会 令和1年10月15日(火)

今年度は、認知症介護研究・研修東京センター長、群馬大学名誉教授の山口晴保先生にお越しいただき、「みんな笑顔の認知症ポジティブケア」と題して講演いただきました。

山口先生は、アルツハイマー病の研究をはじめとして、近年では群馬県の地域リハビリテーション連携システム作り、介護予防、認知症介護研究の普及に尽力されており、その取り組みが注目されテレビなど数多くのメディアにも出演されています。

当法人も、認知症予防を目的とした脳活性化デイケアや健康セミナー、認知症の方を対象とした治療病棟やデイサービス、グループホームなどを広く運営し、認知症の予防・治療・介護に注力しています。

有病率や治療の難しさ、介護者の負担から認知症はネガティブなイメージを持つてしまいがちですが、山口先生の「認知症をポジティブにとらえる」というお話を聞き、多くの職員が今後の患者様との関わりに自信を持てたのではないかと思います。

今回の山口先生のご講演を糧に、栗田病院グループ



記念式典 令和1年11月15日(金)

開会のことば
理事長挨拶
三十年永年勤続表彰
閉会のことば

【三十年永年勤続表彰】
・精神療養病棟 看護師 飯塚恵子さん
・精神療養病棟 准看護師 田山智さん

症例研究発表会 令和1年11月15日(金)

当法人では、医療者としてのスキルや知識の向上を目的として日々の業務の経験や統計をもとに症例研究を行い、年に一度その成果をまとめ発表会を行っています。発表会では職員同士の活発な意見交換だけでなく、より優秀な発表には優秀賞も贈られます。

今回も講師として、茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 糸嶺一郎先生にお越しいただきました。



ていきたいと考えています。もう一つは、かねてから目指していた精神科クリニックを11月に水戸駅南口近くに「この」のクリニック水戸」として開業しました。当院はここ最近、認知症の方々の診療依頼が多くなり、結果的にうつ病圏、神経症圏、不眠症などすぐに入院が必要ではない、軽症〜中等症の精神疾患について十分対応できていない状況が生じていました。当クリニックが産業保健分野など病院では十分カバーできなかった働く世代のメンタルヘルスなどの対応をできればと考えております。

このクリニックにはメンタルヘルスの二次予防である事業場が行うストレスチェック事業、カウンセリング、事業場への研修などを行い、さらには三次予防である休職者の復帰支援、リワークデイケアも行っております。駅から近く利用しやすい場所にありますので、是非精神的な悩みを抱えた方のご紹介をいただければと思います。

ここ数年精神医療分野は大きく変化しています。これまで不十分な診療態勢であった精神医療分野が注目されています。周産期メンタルヘルスがその二例ですが、そのような従来当法人でも十分対応できなかった分野に今年も挑戦できればと考えております。

地域の自治体、医療機関、介護福祉機関、様々な関係機関、当事者の方、さらには地域住民の方におかれましては、当法人が現在約310名という多くの専門職種集団の力を合わせ、精神科医療機関として信頼されるより良い法人を目指して取り組んでいきたいと思ひます。職員各々の日々の自己研鑽や地域の方々との連携・対話に努めつつ、これまで以上に柔軟な発想のもとさまざまなニーズに対応できる法人を目指し取り組んでいきます。ぜひ今後ともよろしく願申し上げます。

(院長 安部秀三)



糸嶺先生には各発表のご講評をいただくとともに、優秀賞の選出もしていただきました。

【研究発表題目】

発表者	題目
寺久保 佳那	クロザピンの副作用とOT参加率との関係について
木ノ内 来実	作業に焦点を当てた不調時の対処方法についての調査
阿部 和可子	行動・心理症状の強い方への認知症ケアとは？行動・心理症状出現時の心を知る
中田 智雄	当院におけるクロザピンの使用経験
安嶋 なつみ	予診内での医師からの評価、PSWが予診を取る意味
昨野 勝	入退院を繰り返すA氏の地域定着に向けた支援／病院PSWの関わり
河井 達哉	新規入院患者ミーティングが患者に対して治療的に働いているか／ミーティングに参加した感想の集計を通して
岡田 英資	認知症入院患者における夜間中途覚醒、徘徊失禁の改善に向けた関わり／統一したケアを実践してわかったこと

【QCサークル】

沼 里 砂
軟菜食のかたさのばらつきをゼロにする!!

○優秀賞

優秀な研究発表には講師糸嶺先生と理事長より優秀賞が贈られました。今回は急性期治療病棟の河井達哉さんが発表した「新規入院患者ミーティングが患者に対して治療的に働いているか」が選ばれ、賞状と副賞が授与されました。



こころのクリニック水戸 OPENのお知らせ

令和元年11月1日にサテライト クリニックを開院いたしました。

医療法人社団 有朋会では令和元年11月1日に、『こころのクリニック水戸（以下、当院）』を水戸市桜川に開院いたしました。当院は水戸駅南口より徒歩5分程度に位置し、外来患者様専用の駐車場も40台以上完備しております。公共交通機関、自家用車いずれでも非常にアクセスしやすい場所にて診療を行っております。

当院の診療コンセプトは『予防から治療まで働く方と組織のメンタルヘルスをトータルでサポートする』です。このコンセプトの基、幅広い治療・サービスを展開いたします。



当院の機能

当院には主に3つの機能があります。1つ目は外来診療です。うつ病やストレス障害の方を中心に薬物療法や精神療法に加え、カウンセリング等も取り入れ、多職種で総合的な治療を提供しております。また、夕方の診療や土曜日の診療も行っており、働いている方も通院しやすい診療時間としております。

2つ目はうつ病からの復職支援です。栗田病院では地域に先駆けて、うつ病からの復職支援リハビリテーションであるリワークデイケアを開設し、10数年にわたってうつ病患者様の復職支援を行ってまいりました。今回、当院を開院するにあたり、リワークデイケアを栗田病院から当院に移動させております。当院のリワークデイケアでは、患者様のサポートに加え、患者様が所属されている企業・団体のご担当者様との連携も大切にしております。患者様―企業ご担当者様―医療スタッフの3者で連携を取りながら復職に向けての支援を行っております。

3つ目の機能は企業・団体のメンタルヘルスに関する取り組みのサポートです。近年、組織のメンタルヘルス対策をサポートするサービスとしてEAP（従業員援助プログラム: Employee Assistance Program）が広がりをを見せています。当院でも関連法人事業として企業連携センターを立ち上げ、法定ストレスチェックサービスやメンタルヘルスに関する研修、訪問カウンセリング等を提供し、組織のこころの健康づくりに関するサービスを幅広く提供しております。



労働現場におけるこころの健康

近年、働く方のこころの健康は日本の労働現場において最も深刻な課題の1つに数えられています。厚生省が行う労働者健康状況調査では強いストレス状況にある労働者は6割以上にのぼるとされています。また、うつ病などメンタルヘルス疾患に伴う社会的コストは3兆円を超えるという試算もあります。

このような状況の中、国としても、2016年には企業に対し年1回、従業員のストレスチェックを行うことを義務付けたり、「働き方改革」のキャッチフレーズのもとに長時間労働の是正やワークライフバランスの改善が求めたりと様々な対策を講じています。私たち精神科医療機関にお



いても働く方のこころの健康に貢献することは社会的に期待されている重要なトピックスであると考えています。

組織におけるこころの健康づくりと 当院の機能

2015年11月に厚労省は「労働者の心の健康の保持増進のための指針（メンタルヘルス指針）」を改正し、組織におけるこころの健康づくりの枠組みを定めています。指針の中では、こころの健康の保持増進のためには、組織が1次予防策、2次予防策、3次予防策の3つの水準で取り組みを行うことが効果的とされています。

1次予防策は「未然防止・発生防止」です。ストレスをため込まないあるいはメンタルヘルス不調を発生させないための予防策が求められます。具体的には、2016年より実施されているストレスチェック制度を活用し、あらかじめ自身のストレス状況を確認したり、メンタルヘルスに関する研修を行い個人のストレスマネジメント力の向上を目指したりすることが該当します。また、ストレスチェックの結果を活用した職場環境の改善も1次予防策に該当します。

当院では、この1次予防的機能を企業連携センターが担っております。事業場のストレスチェックに関してはこれまで延480社、8万人以上の方に受検頂いております。また、従業員の方向けのメンタルヘルス研修や事業場



を訪問してのカウンセリング、高ストレス者への医師面談といったサービスも積極的に提供しております。

2次予防は「早期発見・早期治療」です。

他の疾患と同様に、メンタルヘルス疾患も早期に治療を開始することが大切です。従業員の方ができるだけ早くメンタルヘルスの不調に気が付き、対策をしたり、場合によってはメンタルクリニックに早めに受診できる体制を作ったりします。

3次予防は「再発防止」です。うつ病を中心としたメンタルヘルス疾患は再発率が高いとされています。再発を防ぐために、メンタルクリニックの通院を継続すること、復職に向けてのリハビリをしっかりとこなすことや復職時の体制づくり等が大切です。これらを組織としてはサポートすること構築していくことが求められます。

当院では、この2次予防・3次予防的機能を外来診療とリワークデイケアが担っております。外来診療では早期受診できる体制を整えるとともに、先述の通りに、土曜診療や夕方診療を行うことで働いている方でも通院しやすい環境を整えています。また、公認心理師等のカウンセラーを配置し、カウンセリングによる相談も行っています。うつ病休職者の方を対象としたリワークデイケアでは集団でのリハビリプログラムを導入し、再発防止に取り組んでいます。継続通院による生活リズムの改善、認知行動療法や各種心理教育を活用したストレス耐性の向上、復職に向けてのコンサルテーション等を行っています。



院長挨拶

令和という新しい時代を迎え、有朋会の使命である、「患者様、利用者様、御家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けること」を改めて心に誓い、診療、業務に臨む所存でございます。

診療にあたっては、我々の知り得る情報、知識や症状の評価をできる限り患者様や御家族様、関係者の方々と共有し、一緒に治療を考えていくように心掛けて参ります。また、メンタルの疾患は維持期を含めて薬物療法の継続が必要なものが少なくないですが、そういった疾患でも減薬や薬剤整理の余地がないか、積極的に検討していきます。もし、必ずしも薬物療法を要しない疾患や状態であれば、カウンセリングを含めた心理、精神療法、環境調整など、非薬物療法を優先的に考慮、提案させていただきます。

さらに、少子高齢化に伴い労働力の減少が懸念される社会情勢の中で、その貴重な労働力をメンタル不調により失うことは企業にとって大きな痛手であり、それだけでなく職場内でメンタル不調者への対応を求められることによる、二次的な労力損失も大きな問題と考えられます。当院では復職（リワーク）デイケア、企業メンタルヘルス対策についても注目、注力し、個人だけでなく、企業の支援、サポートにも取り組んでいければと考えております。

当院は水戸近辺では初めて、駅徒歩圏内にある精神科病院のサテライトクリニックとなります。母体である栗田病院と連携しながら、皆様方に信頼される医療、サービスを提供していけるよう、誠心誠意努力して参ります。

院長 高橋智之

こころのクリニック水戸

診療科…心療内科・精神科
診療時間…月・水・木・土 9時30分～16時00分
火・金 9時30分～19時00分
休診日…日・祝
〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15
TEL 029-231-0115

診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	翠川	疋田	翠川
	5 診			須藤			富野
午 後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		第2週 鈴木
	3 診		早坂	竹下			
	5 診	大津					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

〈午前の部〉 受付時間 8:30～11:30
 〈午後の部〉 診察時間 9:00～13:30

*精神科外来は完全予約制になります。
 *当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
 予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

障害福祉サービス事業所 自立訓練（生活訓練） ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652
 「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681
 「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター
 「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558
 「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215
 「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263
 「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」
 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750
 認知症グループホーム「クリクリ田彦」
 〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

アクセスマップ

